



2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東
コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画本部長 (氏名) 村上 雅治 TEL 03(3443)3711
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績 (2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	48,251	18.1	1,298	—	3,315	278.2	2,895	818.8	2,826	—	8,260	—
2023年12月期第1四半期	40,856	0.3	△861	—	876	△3.8	315	△49.3	163	△73.8	△23	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第1四半期	42	70	42	65
2023年12月期第1四半期	2	47	2	47

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2024年12月期第1四半期	311,040	—	133,561	—	131,589	—	42.3	
2023年12月期	296,228	—	126,288	—	124,426	—	42.0	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2023年12月期	—	12.50	—	15.00	27.50
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	101,000	15.8	600	—	900	△83.5	700	△81.9	10.58
通期	213,000	10.6	9,000	52.9	9,100	△21.7	6,200	△31.7	93.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積もりの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	69,175,664株	2023年12月期	69,175,664株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	2,992,820株	2023年12月期	2,992,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	66,182,931株	2023年12月期1Q	66,161,601株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 決算成績の概況

当社は、2023年12月期から3年間を対象とする中期経営計画「Nikkiso 2025 フェーズ2」（対象期間：2023年～2025年）（以下、中計フェーズ2）をスタートしています。中計フェーズ2を2026年以降の本格的な成長に向けた足場固めの期間と位置付け、基本方針である「技術力の向上」、「事業ポートフォリオの再構築」、「本格的な成長に向けた海外拠点の体制構築など経営基盤の強化」を掲げ、さらなる企業価値の向上に取り組んでいます。

2024年第1四半期の世界経済は、ウクライナ情勢の長期化等の地政学上の問題等によりエネルギー確保の動きが活発に推移する一方で、中国の不動産市況低迷の長期化による景気回復の遅れ、欧米等の金融引き締めによる需要抑制影響や円安進行などがあり、先行き不透明な状況が続きました。

インダストリアル事業の主要市場であるLNG、次世代エネルギー関連市場では、中長期的なエネルギー確保、低・脱炭素化の動きによって設備投資需要は拡大基調で推移しています。航空機産業は、コロナ禍以降、航空機需要の回復に伴い、寸断したサプライチェーンの再構築、増産に取り組んでいますが、昨今の航空機メーカーの品質問題による機体の増産計画の遅れが懸念される状況です。メディカル事業の主要市場である血液透析市場では、国内需要はほぼ例年並みとなり、海外はタイ等のアジア、欧州市場の引き合いが好調に推移した一方、中国市場は一時的に需要が減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、受注高 54,684百万円（前年同期比0.5%増）、売上収益 48,251百万円（同18.1%増）、営業利益 1,298百万円（前年同期は営業損失861百万円）、税引前四半期利益は、主に円安による為替差益を1,876百万円計上したことにより 3,315百万円（同278.2%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は 2,826百万円（前年同期は163百万円）となりました。

② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2023年12月期 第1四半期実績	2024年12月期 第1四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	54,427	54,684	+257	+0.5%
工業部門	32,215	35,155	+2,940	+9.1%
インダストリアル事業	29,413	31,094	+1,681	+5.7%
航空宇宙事業	2,601	3,794	+1,192	+45.9%
医療部門	22,331	19,617	△2,713	△12.2%
売上収益	40,856	48,251	+7,395	+18.1%
工業部門	20,296	28,901	+8,604	+42.4%
インダストリアル事業	17,437	24,652	+7,214	+41.4%
航空宇宙事業	2,681	4,088	+1,406	+52.5%
医療部門	20,677	19,437	△1,240	△6.0%
セグメント利益	△861	1,298	+2,159	—
工業部門	△1,134	657	+1,792	—
インダストリアル事業	△220	1,568	+1,788	—
航空宇宙事業	△569	△535	+34	—
医療部門	1,956	1,502	△453	△23.2%
調整額（全社費用等）	△1,693	△883	+810	—
税引前四半期利益	876	3,315	+2,438	+278.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	163	2,826	+2,662	—

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。

※ セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

《事業セグメント別の事業環境と事業概況》

事業	主要製品	2024年12月期 第1四半期の事業・受注環境	2024年12月期 第1四半期の業績概況
インダストリアル事業	産業用ポンプ・システム	<ul style="list-style-type: none"> ・中東・アジアを中心とした化学プラント関連の需要が堅調に推移。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品Mixの見直し、販売価格の適正化が奏功、収益性は回復基調。
	液化ガス・産業ガス関連機器・装置	<ul style="list-style-type: none"> ・LNG市場は、エネルギー確保や低・脱炭素化に向けた需要が活況で、北米、欧州、アジア地域の液化・受入基地等の案件で活発な動きが継続。 ・水素、アンモニア等の次世代エネルギー関連市場は、実証実験投資を含めた活発な動きが継続するも、業績への貢献は数年先以降と見込む。 ・受注高は、為替影響を除けば前年同期比減少となるも、概ね計画通りに推移。 	<p>主要プレイヤーであるClean Energy & Industrial Gas グループ（以下、CE&IGグループ）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LNGや水素ステーション事業などの既受注案件の工事遂行で、売上収益が大きく増加。 ・収益面では、事業規模拡大に伴い、固定費などの増加があるものの、増収効果で収益性は大きく改善。
	精密機器	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体需要低迷の影響で電子部品市場は設備投資の調整局面が続く。受注高は前年同期並みに留まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売価格適正化の取組が奏功し、収益性は回復基調。
航空宇宙事業	民間航空機向け炭素繊維強化プラスチック（CFRP）成形品	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降、航空機需要の回復に伴い、航空機産業全体が寸断したサプライチェーンの再構築、増産に取組むも、昨今の航空機メーカーの品質問題による機体の増産計画の遅れが懸念され、本格回復へ向けて不透明感は強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機産業のサプライチェーン再構築が進む中、主力製品のカスケード、ベトナム ハノイ工場の生産部品等の出荷は回復基調。 ・増収効果、円安影響、前期からの段階的な販売価格の適正化等で、採算性の回復は継続。一方、増産対応等により固定費は増加しており、収益性の改善は継続課題。

メディカル事業	血液透析関連製品	<ul style="list-style-type: none"> ・血液透析装置及び消耗品の国内需要はほぼ前年並み。 ・海外では中国市場は一時的に受注は減少、アジア市場は好調な引き合いが継続。 ・米国市場は、血液透析装置の販売許認可の取得後の拡販に備えた体制整備を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液透析装置の国内販売は、部品不足解消に伴う受注残の出荷促進があった前年と比較すると僅かに減少するも業況は堅実。 ・海外販売は、欧州、アジア市場が好調も、中国市場が一時的に縮小したことで減収。消耗品は透析用剤・血液回路の販売価格適正化の取組が奏功し、増収。 ・中国市場の減益があるも、欧州等の増収影響、販売価格の適正化や血液回路製品の型式削減など製品の収益性改善、固定費・経費の削減等で、営業利益は前年並みに留まる。
	CRRT（急性血液浄化療法）関連製品	<ul style="list-style-type: none"> ・主力の中国市場は一時的に受注は減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主力の中国市場の減収により減益。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は311,040百万円となり、前連結会計年度末に比べて14,811百万円増加しました。現金及び現金同等物、棚卸資産及び使用権資産の増加が主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は177,478百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,538百万円増加しました。未払法人所得税等が減少した一方、借入金、リース負債が増加したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は133,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,272百万円増加しました。在外営業活動体の換算差額の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期においては、当社グループの主力各事業での販売価格適正化による収益性改善の効果なども出てきており、業績回復基調はより鮮明になってきました。一方、ウクライナ情勢の長期化などの地政学、中国経済の回復遅れ、世界的な物価高と金融引き締めによる消費の下振れ、円安の進行など世界情勢が先行き不透明ななか、航空機メーカーの品質問題発生やメディカル中国市場の一時的な需要減退など当社を取り巻く事業環境は依然厳しく、予断を許さない状況が続いています。現時点では連結業績予想を据え置きますが、今後、各事業の環境変化の影響を見極め、修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。なお、当該業績予想で前提としている為替レートは、140円/米ドル、150円/ユーロです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,304	35,180
営業債権及びその他の債権	62,674	63,760
その他の短期金融資産	583	663
棚卸資産	56,470	60,125
未収還付法人所得税	660	771
その他の流動資産	7,956	7,102
小計	160,650	167,604
売却目的で保有する資産	—	1,186
流動資産合計	160,650	168,790
非流動資産		
有形固定資産	53,598	52,659
のれん及び無形資産	36,509	38,439
使用権資産	17,389	21,564
持分法で会計処理されている投資	5,140	5,305
長期金融資産	19,860	20,722
繰延税金資産	2,406	2,518
その他の非流動資産	674	1,039
非流動資産合計	135,578	142,249
資産合計	296,228	311,040

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	16,482	31,557
営業債務及びその他の債務	29,154	27,594
リース負債	2,666	3,127
その他の短期金融負債	677	660
未払法人所得税等	19,926	1,983
引当金	1,345	1,354
その他の流動負債	31,442	32,135
小計	101,696	98,413
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	-	543
流動負債合計	101,696	98,956
非流動負債		
長期借入金	48,302	55,003
リース負債	13,601	17,264
その他の長期金融負債	27	26
退職給付に係る負債	1,599	1,614
引当金	2,143	1,632
繰延税金負債	2,487	2,913
その他の非流動負債	81	66
非流動負債合計	68,243	78,521
負債合計	169,940	177,478
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	6,113	6,118
自己株式	△2,753	△2,753
その他の資本の構成要素	24,797	30,113
利益剰余金	89,724	91,567
親会社の所有者に帰属する持分	124,426	131,589
非支配持分	1,862	1,971
資本合計	126,288	133,561
負債及び資本合計	296,228	311,040

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	40,856	48,251
売上原価	△30,913	△35,360
売上総利益	9,942	12,891
販売費及び一般管理費	△11,043	△11,770
その他の収益	256	186
その他の費用	△16	△8
営業利益(△は損失)	△861	1,298
金融収益	1,796	2,133
金融費用	△206	△181
持分法による投資利益	147	65
税引前四半期利益	876	3,315
法人所得税費用	△561	△419
四半期利益	315	2,895
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	163	2,826
非支配持分	151	69
四半期利益	315	2,895
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	2.47	42.70
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	2.47	42.65

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期利益	315	2,895
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	63	572
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
合計	64	570
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△325	4,565
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△163	31
持分法適用会社に対する持分相当額	85	196
合計	△403	4,793
税引後その他の包括利益	△338	5,364
四半期包括利益	△23	8,260
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△209	8,151
非支配持分	186	109
四半期包括利益	△23	8,260

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2023年1月1日	6,544	10,969	△7,491	6,437	15,977
四半期利益					
その他の包括利益				64	△274
四半期包括利益合計	—	—	—	64	△274
自己株式の取得			△0		
自己株式の消却		△4,718	4,718		
配当金					
株式に基づく報酬取引		4			
利益剰余金への振替				△17	
所有者との取引額等合計	—	△4,714	4,718	△17	—
2023年3月31日	6,544	6,254	△2,773	6,485	15,702

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2023年1月1日	88	22,503	81,702	114,227	1,537	115,764
四半期利益			163	163	151	315
その他の包括利益	△163	△373		△373	35	△338
四半期包括利益合計	△163	△373	163	△209	186	△23
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の消却				—		—
配当金			△827	△827		△827
株式に基づく報酬取引				4		4
利益剰余金への振替		△17	17	—		—
所有者との取引額等合計	—	△17	△809	△822	—	△822
2023年3月31日	△75	22,112	81,056	113,195	1,723	114,918

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2024年1月1日	6,544	6,113	△2,753	5,717	19,049
四半期利益					
その他の包括利益				570	4,729
四半期包括利益合計	—	—	—	570	4,729
自己株式の取得			△0		
配当金					
株式に基づく報酬取引		5			
利益剰余金への振替				△9	
所有者との取引額等合計	—	5	△0	△9	—
2024年3月31日	6,544	6,118	△2,753	6,279	23,778

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2024年1月1日	30	24,797	89,724	124,426	1,862	126,288
四半期利益			2,826	2,826	69	2,895
その他の包括利益	24	5,324		5,324	39	5,364
四半期包括利益合計	24	5,324	2,826	8,151	109	8,260
自己株式の取得				△0		△0
配当金			△992	△992		△992
株式に基づく報酬取引				5		5
利益剰余金への振替		△9	9	—		—
所有者との取引額等合計	—	△9	△983	△987	—	△987
2024年3月31日	55	30,113	91,567	131,589	1,971	133,561

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。